



看板を設置する白糠ライオンズクラブの会員

TOPIC 4
3/22
交通事故ゼロを願って
ライオンズクラブ交通安全看板設置

白糠ライオンズクラブ（高橋清美会長）は、国道38号線沿いや明治通りなどの通学路に「スピード落せ」と書かれた交通安全を呼びかける看板を設置しました。新入学後に交通事故が増加する傾向があることから、同クラブでは毎年交通安全看板を設置しています。この日は、会員5人が設置作業にあたり、白糠地域に8枚、西庶路地域に7枚の看板を設置しました。高橋会長は「運転する際はスピードに注意して、交通安全に努めてほしい」と呼びかけました。

TOPIC 5
3/23
研究の成果を発表
「総合的な探究の時間」発表会

白糠高校の1、2年生が「総合的な探究の時間」で取り組んできた「海洋ごみ調査」や「農業体験」、「アイヌ文化探究」などについて、その成果や課題を発表しました。修学旅行で訪れた京都と白糠の違いを発表したグループは「京都は、観光や特産品を上手に情報発信しているので、白糠もInstagramなどを効果的に活用すべき」。アイヌ文化と題したグループは「アイヌ文化の関心を高めるために、アスレチックと融合した施設をつくってはどうか」などと発表していました。



生徒44人が10グループに分かれて発表しました

TOPIC 6
3/25
自己ベスト目指して
チャンピオンピックinしらぬか

4年ぶりとなる「チャンピオンピックinしらぬか」が総合体育館で開催され、参加した48人が自己ベストを目指し、各種目に取り組んでいました。種目は、上体起こしや腕立て伏せなどの運動適正テスト5種目と、長靴飛ばしや「豆！皿うつし」などのレクリエーション4種目。佐々木颯さん（庶路4年）は「立幅跳びの記録が伸びなかったけれど、たくさんの種目に挑戦できて楽しかったです」と話していました。



「5分間走」で体育館を走る参加者

TOPIC 1
3/18
子育てについてアドバイス
第5回家庭教育カフェ

くしろ子育てネットワーク「ハポート」代表の伊藤美也子さんを招いた「家庭教育カフェ」が公民館で開催されました。伊藤さんは、産後うつになり過呼吸で意識を失った過去を明かし「困ったときに『助けて』と言える人を作ることが大切。いろいろなところに顔を出して交流してほしい」と話しました。参加した及川明穂さんは「子育てに関する悩みを共有することが大切だと思います。とても参考になりました」と話していました。



「ハポート」で子育て情報誌の発行をしている伊藤さん（左）



雇用形態や業務内容などの話しを聞く参加者（左）

TOPIC 2
3/19
雇用拡大につなげる
第3回合同企業説明会

町内企業による合同企業説明会が白糠振興センターで開かれ、参加した9社の各担当者が来場者へ業務内容などを説明しました。釧路市在住の大石朋樹さんは「一対一の対応により、会社の細かなところまで話を聞くことができたので良かったです」と話していました。高坂林業株式会社の高坂英己社長は「説明会の開催で雇用拡大につなげることができました。地元で働いてもらうという企業側の意識向上にもなったと思います」と話していました。

TOPIC 3
3/20
みんなで楽しく交流
ママ♡こっこ広場

親子のふれあいや参加者間の交流の場「ママ♡こっこ広場」が子育て支援センターで開かれました。始めに学校法人二葉学園の漆崎高理事長が「こどもへのまなざし」と題して講演。「子どもと過ごす今の時期を大切にしてほしい。子育ては最高に価値があり、誇りのある仕事です」と話していました。その後、参加者はペットボトルやビーズを使ったおもちゃ作りに挑戦。和気あいあいと、みんなで楽しく交流していました。



おもちゃを作りながら、子どもについての会話を楽しむ参加者